

平成 23(2011)年度事業報告

平成 23 年度の諸事業は、財団法人朝日新聞文化財団第 38 回評議員会及び理事会で可決、承認された事業計画を順次実施した。

■ 4 つの事業関係

1)【芸術活動助成】(公益財団法人 朝日新聞文化財団 定款第 4 条1の事業)

平成 23 年度の芸術活動助成事業は、音楽分野については平成 23 年 3 月 24 日に選考委員会を開き、美術分野については東日本大震災の影響で選考委員が一堂に会することができなかったため、同年 3 月中の持ち回り選考で助成対象を決めた。

応募は 199 件(音楽分野 105 件、美術分野 94 件)あり、前年度の 317 件から大幅に減った。それまで年 2 回の公募を 1 回にしたことが一因とみられる。(※ちなみに平成 24 年度は再び増え、271 件の応募があった)

平成 23 度は最終的に音楽分野 46 件、美術分野 42 件の合計 88 件に総額 2270 万円を助成した。ただし、選考委員会で助成が決まったものの、東日本大震災の影響で公演が中止になるなど、助成を辞退したケースが音楽分野で 4 件、美術分野で 1 件(合計 130 万円)あった。助成した事業(助成先・助成対象)は別紙1の通り。

2)【文化財保護助成】(公益財団法人 朝日新聞文化財団 定款第 4 条 2 の事業)

平成 22 年 9 月 11 日に開かれた選考委員会で、平成 23 年度助成実施対象事業として応募があった 46 件の中から『『明月記』保存・継承のための調査及び翻刻(活字化)』など 20 件(助成決定総額 2580 万円)を選んだ。さらに、それ以前に決定されていた複数年度事業と、平成 24 年度実施対象事業だったが、助成先の要請で前倒しに執行した東日本大震災の「被災地支援枠」の 4 件も含めて、最終的には平成 23 年度内に 32 事業(別紙 2)を実施し、合計 4830 万円を助成した。

3)【朝日賞の贈呈】(公益財団法人 朝日新聞文化財団 定款第 4 条 3 の事業)

平成 23 年度の朝日賞は、下記の 5 氏に贈呈された。

◇横尾 忠則(美術家) 常に時代と共振する斬新なグラフィックデザイン・絵画の制作

◇富田 勲(作曲家) 世界を舞台にした作曲家・音響クリエイターとしての活動

◇上野 千鶴子(社会学者) 女性学・フェミニズムとケア問題の研究と実践

◇香取 秀俊(東京大教授) 光格子時計に関する研究

◇坂口 志文(大阪大教授) 制御性T細胞の発見を通じた免疫寛容の解明

受賞者の業績と横顔は平成 24 年 1 月 1 日の朝日新聞に掲載された。

また贈呈式と祝賀パーティーが同月 27 日、東京・日比谷の帝国ホテルで開かれた。

贈呈式では、秋山耿太郎理事長から受賞した 5 氏に正賞のブロンズ像(彫刻家で 1988 年度朝日賞受賞者の佐藤忠良氏の作品「陽」と副賞 500 万円が贈られた。各受賞者はこの後、ステージで喜びを語った。

4)【大阪国際フェスティバルの開催】

(公益財団法人 朝日新聞文化財団 定款第 4 条 4 の事業)

大阪フェスティバルホールの建て替えでホールを使えないため、平成 23 年度は他の会場で大阪国際フェスティバルの特別公演を 7 月から 11 月にかけて計 4 回開いた。

*大阪フィルハーモニー交響楽団 「マーラー没後 100 年～天上の響き～」

日時:平成 23 年 7 月 28 日(木)19:00

会場:兵庫県立芸術文化センターKOBELCO 大ホール

曲目:モーツァルト/歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲、シェーンベルク/「浄められた夜」 作品 4、マーラー/交響曲第 4 番 ト長調

出演者:大阪フィルハーモニー交響楽団、指揮 大植英次(同楽団音楽監督)

ソプラノ ハイディ・エリザベス・マイヤー

*新国立劇場 こどものためのオペラ劇場<パルジファルとふしぎな聖杯>全1幕

日時:平成 23 年 8 月 6 日(土)11:30/15:00

会場:兵庫県立芸術文化センターKOBELCO 大ホール

作曲:リヒャルト・ワーグナー

出演:秋谷直之、峰 茂樹、國光ともこ、星野 淳、久保田真澄、新国立劇場こどもオペラ・ヴォーカルアンサンブル、新国立劇場こどもオペラ・アンサンブル

*マレク・ヤノフスキ指揮 ベルリン放送交響楽団

日時:平成 23 年 10 月 8 日(土)14:00

会場:兵庫県立芸術文化センターKOBELCO 大ホール

曲目:ウェーバー／歌劇「魔弾の射手」序曲

ベートーベン／ピアノ協奏曲第5番「皇帝」(ソリスト:河村尚子)

ブラームス／交響曲第4番 ホ短調

*ウラディーミル・アシュケナージ指揮 シドニー交響楽団

日時:平成23年11月12日(土)14:00

会場:兵庫県立芸術文化センターKOBELCO 大ホール

曲目:ベートーベン／ヴァイオリン協奏曲 ニ長調(ソリスト:庄司紗矢香)

ラフマニノフ／交響曲第2番 ホ短調

■ 管理運営関係等

◇ 諸会議の開催

- ① 平成23(2011)年度・第1回理事会(平成23年5月11日)
- ② 平成23年度・定例評議員会/理事懇談会(平成23年5月26日)
- ③ 平成23年度・臨時理事会(平成23年6月16日) ※株主議決権行使・書面
- ④ 平成23年度・臨時理事会(平成23年8月26日) ※事務局長人事・書面
- ⑤ 平成23年度・文化財保護助成選考委員会(平成23年9月10日)
- ⑥ 平成23年度・朝日賞選考委員会(平成23年12月1日)
- ⑦ 平成23年度・芸術活動助成選考委員会(平成24年2月16日、同月19日)
- ⑧ 平成23年度・第2回理事会(平成24年3月17日)

◇ 諸会議の結果

① 平成23年度・第1回理事会

*開催方法:書面表決

*理事会の決議があったものとみなされた日:平成23年5月11日

*決議方式:定款第42条に基づく書面決議で理事全員が賛成、監事2人も同意

*決議事項:「平成22年度事業報告」、「平成22年度収支決算」、「顧問選任」について承認した。

② 平成23年度・定例評議員会

*日時:平成23年5月26日

*場所:東京都中央区築地の朝日新聞東京本社新館15階

*決議事項:「平成22年度事業報告」「平成22年度収支決算」「顧問選任」「議事録署名人の指名」

* 報告事項:「平成 23 年度版の『事業案内』と『年報』の 6 月 1 日付け発行」「朝日新聞社及びテレビ朝日の株主総会議案にかかる議決権行使に関連して、議案が分かり次第、書面で説明すること」「芸術活動助成事業の選考方法等の変更」

* 出席等: 決議に必要な出席評議員の数 4 名、出席 5 名、欠席 2 名、監事出席 2 名

③ 平成 23 年度・臨時理事会「株主議決権行使」

* 開催方法: 書面表決

* 理事会の決議があったものとみなされた日: 平成 23 年 6 月 16 日

* 決議方式: 定款第 42 条に基づく書面決議で関連理事全員が賛成、監事 2 人も同意 (※ただし、特別な利害関係を有する秋山耿太郎理事長を除く)

* 決議事項:「朝日新聞社及びテレビ朝日の株主議決権行使にかかる決議」について承認した。

④ 平成 23 年度・臨時理事会「事務局長人事」

* 開催方法: 書面表決

* 理事会の決議があったものとみなされた日: 平成 23 年 8 月 26 日

* 決議方式: 定款第 42 条に基づく書面決議で理事全員が賛成、監事 2 人も同意

* 決議事項:「事務局長交代人事」について承認した。

⑤ 平成 23 年度・文化財保護助成選考委員会

* 日時: 平成 23 年 9 月 10 日

* 場所: 東京都中央区銀座の朝日新聞文化財団事務所

* 出席者: 選考委員 7 名全員 (有賀祥隆、佐藤友美子、沢田正昭、武田佐知子、根立研介、広瀬和雄、天野幸弘)

* 選考結果: 平成 24 年度実施の対象事業として応募があった 56 件の中から「国宝・病草紙 保存修理事業」など 21 件 (助成決定総額 4780 万円) の助成を決めた。初めて東日本大震災の「被災地枠」を設け、このうち「福島県重要無形民俗文化財『相馬宇多郷の神楽』関係用具整備事業」など 10 件に合計 1000 万円を振り向け、実施を急ぐ 4 件 310 万円については平成 23 年度中に前倒しで執行した。

⑥ 平成 23 年度・朝日賞選考委員会

* 日時: 平成 23 年 12 月 1 日

* 場所: 東京都中央区築地の朝日新聞東京本社本館 15 階

* 出席者: 選考委員 9 名全員 (亀山郁夫、岸本忠三、北澤宏一、津島祐子、三宅一生、養老孟司、米沢富美子、秋山耿太郎、大軒由敬)

* 選考結果: 平成 23 年度の朝日賞は、下記の 5 氏に贈呈された。

◇横尾 忠則 (美術家) ◇富田 勲 (作曲家) ◇上野 千鶴子 (社会学者)

◇香取 秀俊(東京大教授) ◇坂口 志文(大阪大教授)

⑦ 平成 23 年度・芸術活動助成選考委員会(平成 24 年 2 月 16 日、同月 19 日)

A) 美術分野

*日時:平成 24 年 2 月 16 日

*場所:東京都中央区銀座の朝日新聞文化財団事務所

*出席者:酒井忠康、高階秀爾、山本克哉(以上、本人出席)

尾高忠明、沼尻竜典(以上、書面出席) 以上 5 名(選考委員総数 5 名)

*選考結果:平成 24 年度実施の対象事業として応募があった 135 件の中から「第 10 回世界ポスタートリエンナーレトヤマ 2012」など 81 件(助成決定総額 1200 万円)の助成を決めた。このうち東日本大震災の「被災地支援枠」として「(仮称)大槌復興支援プロジェクト『記憶の大槌～震災からの思い』きょうじ漠」など 6 件 90 万円を選んだ。

B) 音楽分野

*日時:平成 24 年 2 月 19 日

*場所:東京都中央区銀座の朝日新聞文化財団事務所

*出席者:尾高忠明、沼尻竜典、山本克哉(以上、本人出席)

酒井忠康、高階秀爾(以上、書面出席) 以上 5 名(選考委員総数 5 名)

*選考結果:平成 24 年度実施の対象事業として応募があった 136 件の中から「Noism 北米ケネディーセンター公演」など 53 件(助成決定総額 1200 万円)の助成を決めた。このうち「被災地支援枠」として岩手県宮古市の「黒森神楽 北米ツアー」など 9 件 250 万円を選んだ。

⑧ 平成 23 年度・第 2 回理事会

*日時:平成 24 年 3 月 17 日

*場所:東京都中央区築地の朝日新聞東京本社新館 15 階

*決議事項:「平成 24 年度事業計画」「平成 24 年度収支予算」「事務局長交代の人事案件」「選考委員会運営規則の一部修正」「助成事業の『大災害時の臨時支出枠』創設」「若手音楽家育成の新助成制度」「平成 24 年度・定例評議員会の招集」について承認した。

*報告事項:「平成 24 年 6 月 6 日の理事会招集と今後の理事会運営の流れ」「議事録の配付等」

*出席等:決議に必要な出席理事の数 4 名、7 名全員が出席、監事出席 2 名

以上